

ことし9月21日からオンラインでの求人応募が可能になるなど、ハローワークインターネットサービスの機能が拡充されました。その概要と活用法、実務上の留意点を紹介します。

ハローワーク インターネットサービスの 機能が強化されました



ウエルズ社会保険労務士事務所
社会保険労務士・ハローワーク求人アドバイザー

五十川 将史

ハローワークインターネットサービスとは

ハローワークインターネットサービスとは、厚生労働省が運営する就職支援・雇用促進のための情報提供サイトです。1日当たりのアクセス数は約40万件と言われており、非常に多くの求職者に向けて情報発信が可能です。

人材獲得のため求人掲載する企業も、仕事を探している求職者も、双方が無料で利用することができます。特に採用リソースに乏しい中小・零細企業にとっては、貴重な採用ツールの1つです。

そんなハローワークインターネットサービスは、2020年1月に大幅な刷新が図られており、「求人者マイページ」が創設されるなど、オンラインによる迅速なサービスを受けることが可能となっています。

求人者マイページ

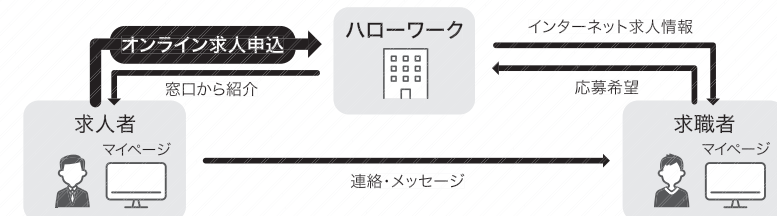
機能とは

「求人者マイページ」とは、ハローワークにおける求人サービスをオンライン上で受けられる事業者向けの専用ページのことです。ハローワークインターネットサービスからオンライン上で開設でき、各種求人サービスを利用することが可能です。

「求人者マイページ」に備わっている基本的な機能は、次のとおりです（図表1）。

①求人者マイページで求人申込みや求人管理ができる
求人者マイページを利用することで、ハローワーク

〈図表1〉これまでの「マイページ」の機能



メリット

- ▶ 365日・24時間いつでもパソコンで求人申込みができる（訪問不要）
- ▶ 求人票や応募者状況がマイページ内で管理できる
- ▶ 求職登録し公開に同意している求職者情報を検索できる（リクエスト）
- ▶ 職場風景などの画像情報（写真）を自由に登録・変更・削除できる

の窓口を訪問することなく、会社のパソコン等からオンライン上で求人申込みが可能です。求人内容の変更や求人取消しも、オンライン上で完結することができます。ハローワークの窓口が開いていない曜日や時間帯でも、利用可能です。

② 詳細な求人情報を掲載できる

求人者マイページでは、求職者に対して求人情報をより詳細に伝えることができる求人票を作成・掲載することが出来ます。

求人票に掲載する情報のほか、福利厚生や研修制度、両立支援の

内容などのPR情報も提供できますので、民間の求人媒体に見劣りしない求人情報量を掲載して求職者に発信することが出来ます。

③ 画像情報の登録や変更が可能

ハローワークインターネットサービスには、求人票などの文字情報だけでなく、求職者に職場のイメージや仕事内容を視覚的に訴える写真などの画像情報を最大10枚まで登録して、掲載することが出来ます。また、画像ごとにも30字までの「画像タイトル・紹介文」を記載することも出来ます。

④ 求職者の情報検索ができる

ハローワークに登録している求職者で、氏名等を除く一定の求職情報の公開を希望している人については、「希望職種」「希望勤務地」「資格・免許」「最終学歴」などの情報を求人者が検索することが出来ます。

どんな求職者がいて、どのような希望を持っているのかを知ることができ、自社の採用戦略策定に活かす

ことが出来るでしょう。

また、募集条件に合う求職者が見つかった場合には、ハローワークを通じてリクエスト（求人への応募依頼）を送ることも可能になります。現時点では、まだ求人者から求職者に対してリクエストを送ることはできませんが、2022年3月から求人者マイページを通じて求職者に直接リクエストを送ることが可能となる予定です。

⑤ 求人者マイページで応募者の管理や採否の結果報告が可能

応募者を一覧で表示することができ、応募書類が届く前に求人者マイページ上で紹介状の確認も可能です。ハローワークへのFAXや電話での報告も不要になるなど、経費削減にもつながります。

求人者マイページの

新機能とは

ことし9月21日からは、求人者マイページに、次の3つの機能が加わりました（図表2）。

● オンラインハローワーク紹介

「オンラインハローワーク紹介」

という新機能が加わり、これまでハローワークの窓口で行なわれていた職業紹介を、オンライン上で行なうことが可能となりました（次頁図表3）。

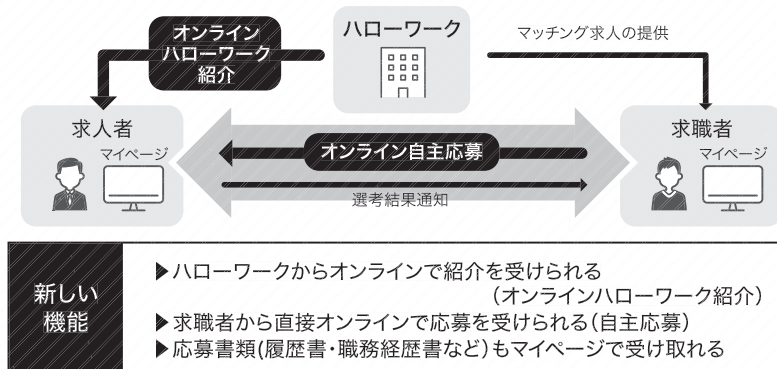
具体的には、求人者マイページを通じて、ハローワークからオンラインで職業紹介を受けることが出来ます。求職者とのやりとりを求人者マイページで完結することが出来るため、採用業務を効率化することが出来ます。

オンラインハローワーク紹介は、すべての求人が紹介の対象となります。ハローワークで職業相談を受けた求職者を対象に、求人との適合性をハローワークの職員が判断し、紹介します。

求職者が応募すれば、紹介状や応募者の志望動機が書かれた応募通知が求人者マイページに届き、その後の面接日時の調整などもメッセージ機能で行なうことが出来ます。

なお、オンラインではありませんが、ハローワークの職業紹介となるため、ハローワーク等の職業紹介を要件とする助成金（特定求職者雇用開発助成金・トライアル雇用助成金・地域雇用開発助成金ほか）の支給要件の対象となります。

〈図表2〉「マイページ」の新機能



●オンライン自主応募

「オンライン自主応募」という新機能が加わり、ハローワークを都度介することなく、求人者マイページ上で、求職者から直接応募を受けることができるようになりました（図表4）。

ハローワークインターネットサービスに掲載してある求人を見つけた求職者が、気になる企業に対して、ハローワークを介さずに直接応募する仕組みです。

ハローワークの窓口に向いて求職登録をしている求職者に加えて、ハローワークインターネットサービスのみに登録している求職者も応募できるため、応募者層が広がる可能性があります。

なお、オンライン自主応募は、ハローワークの職業紹介とはなりません。そのため、ハローワーク等の職業紹介を要件とする助成金（特定求職者雇用開発助成金・トライアル雇用助成金・地域雇用開発助成金ほか）の支給要件の対象外となります。

●応募書類の管理や 選考結果入力効率化

オンラインハローワーク紹介、

オンライン自主応募とともに「求人者マイページ」を介して、求職者から直接志望動機のメッセージや応募書類を受け取ることが可能になりました。

また、これまで「求人者マイページ」から選考結果が登録できるのは、求人が有効中の場合のみと

なっていました。求人期間が過ぎて求人が無効とされた後も、無効となつてから3か月後の月末までは「求人者マイページ」から選考結果を登録することができるようになりました。

応募者は、採否通知があるまで不安な状態で待っていますし、他

の企業への応募を差し控えている場合もあります。

応募者やハローワークからの企業イメージに影響すること考えられますので、採用選考終了後は、速やかに採否結果を求人者マイページへ登録・反映することが求められます。

〈図表3〉オンラインハローワーク紹介の概要

マイページを通じてハローワークからオンラインで紹介を受ける

紹介を受ける流れ

- ①ハローワークが登録求職者にマッチング求人（応募推奨）を選定し、求人者に応募可能を確認して求職者のマイページに求人情報を提供
- ②求職者が応募を希望すればマイページ上で応募（職業紹介の成立）
- ③求人者に応募通知が届き、紹介状や志望動機もマイページで確認
- ④求人者と求職者がマイページのメッセージ機能で面接日時などを調整し選考
- ⑤選考を行ない、採否結果をマイページに入力

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ▶求職者との適合性をハローワークの職員が判断して職業紹介してもらえる ▶ハローワーク窓口へ来所せずにオンライン上で職業紹介を受けることができる ▶職業紹介を要件とする助成金等の支給の対象となる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ハローワークでの職業相談を受けていない求職者は対象外 ▶求職者との適合性をハローワークの職員が判断できない場合は職業紹介につながらない

〈図表4〉オンライン自主応募の概要

ハローワークを介せずマイページで求職者から直接応募を受ける

自主応募の流れ

- ①求職者が自社の求人に応募すると、マイページに応募通知が届く
- ②マイページ内の志望動機や履歴書を確認し、メッセージ機能で面接日時を調整
- ③選考を行ない、採否結果をマイページに入力

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ▶応募者層が広がる可能性（特に若年層・在職者） ▶求職者とのやりとりはマイページで完結でき効率的 ▶派遣・請負求人にも利用可（条件あり） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶応募者はハローワークでの職業相談を受けていないため自社の募集条件に合致しない人もいる ▶紹介を要件とする助成金の対象外 ▶トラブルは当事者間での対応

実務上の

留意点とは

求人者マイページの機能活用
のためには「求職者マイペー
ジ」の開設が前提

求人掲載する企業も、仕事を
探している求職者も、双方がそれ
ぞれ「求人者マイページ」「求職者
マイページ」を開設していること
が前提となります。

今回のハローワークインターネ
ットサービスの拡充において、求
職者もハローワークの窓口を訪問
することなく、オンラインで「求
職者マイページ」を開設できるよ
うになりましたので、今後は特に
若年者や在職者の利用の増加が期
待されます。

オンライン自主応募の受け付け
を希望する場合は「求人者
マイページ」での設定が必要

ことし9月21日より前に登録さ
れた求人については、「オンライ
ン自主応募を受け付けない」に自
動設定されています。オンライン
自主応募の受け付けを希望する場合

は「求人者マイページ」から求人
条件変更の手続きを行なう必要が
あります。

設定は求人ごとに行なうことが
できますので、募集職種や緊急度
などの採用方針により使い分ける
ことも可能です。

また、オンライン自主応募で
は、求人者マイページを通じて、
オンラインで応募書類データを受
け取ることもできます。

応募から採用決定までをオンラ
イン上で完結させたい場合には、
求人者マイページの「応募書類
等」欄の「求職者マイページから
の登録」に、チェックを入れる必
要があります。

オンライン自主応募では、ハロー
ワークからの応募連絡がない

求職者がオンライン自主応募を
すると、求人者マイページに応募
通知（オンライン自主応募）が届
きますが、ハローワークからの連
絡はありません。

応募者への誠実な対応は、採用
の成功につながるだけではなく、
自社のイメージアップにつながり
ます。応募者への迅速な返信やト
ラブルの防止のためにも、求人者
マイページを定期的に確認して、

応募の有無をチェックする必要が
あります。

オンライン自主応募の手軽さ
から安易な応募も含まれる
可能性がある

先述したように、ハローワーク
の窓口での職業相談を受けていな
い求職者も「求職者マイページ」
を開設でき、オンラインによる応
募も可能（オンラインで15件ま
で）となりました。

ハローワークが求職者と求人
の適性の確認を行なっていないた
め、募集要件に合致しない求職者
が応募する場合があります。

求人者（企業）は、仕事内容を
わかりやすく説明し、求める人物
像をより具体化した求人の作成や
画像情報の活用、選考における就
労意思や志望理由の見極めが重要
となってきます。

オンライン自主応募によって
採用しても、職業紹介を要件
とする助成金等の支給の対
象とならない

オンライン自主応募は、求職者
の自主的な求職活動であり、ハロ
ーワークの職業紹介を介しない応
募方法となります。

求職者からのオンライン自主応
募は、職業紹介に当たらないた
め、ハローワーク等の職業紹介を
要件とする助成金（特定求職者雇
用開発助成金・トライアル雇用助
成金・地域雇用開発助成金ほか）
の支給対象とはなりませんので、
注意が必要です。

助成金の活用を前提とした募集
を行なうのか、助成金の活用にと
だわることなく、より幅広い求職
者に門戸を広げるのか、自社の採
用戦略に合わせた検討が求められ
ます。

ハローワーク担当者とのつな
がりも活用する

オンライン自主応募に代表され
るようにオンライン上での機能強
化が図られたものの、ハローワー
クの窓口では、引き続き求職者が
応募しやすい求人条件や求職票の
記載に関する助言・援助が行なわ
れています。

オンラインハローワーク紹介
は、ハローワーク窓口において職
業相談を受けた求職者が対象にな
ることから、ハローワークに積極
的にアドバイスを求めたり、情報
提供することで、求職者とのマツ
チングも期待できます。